

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年6月19日 実施報告

参加者：親子4組（子ども4名）

担当：心理学部学生9名（プログラム実施B-2班・補助B-1班・受付B-1・2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育士スタッフ 下村・福本

内容：動物に会ってなりきろう！

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回は動物をテーマに、まねっこや体で表現することの楽しさを感じてもらえるようなプログラムを行いました。

初めに、絵本『ごあいさつあそび』を用いて、一緒にお辞儀やかけ声をする遊びを行いました。「こんにちは」と絵本に合わせてお子さんたちにお辞儀をすると、学生の動作を見てまねをしてくれていました。また絵本を読む際には、お子さんたちの興味を引けるよう、声色を変えることや動作を入れることを意識して行いました。

次に大きなポケットを準備して、『ジャングルポケット』の歌に合わせて学生がポケットから動物を取り出していきました。ポケットを前に出すときやポケットから動物を取り出す時は、木琴や鈴を鳴らし、お子さんたちに「何だろう」と声をかけ、興味を持ってもらえるような工夫をしました。お子さんも取り出された動物やポケット本体に興味を示してくれて、自ら近づいたり、指で指したりしてくれました。

最後に保護者の方にもご協力いただき、動物になりきって、キーボードの音源に合わせて動いてもらう遊びをしました。まねをするだけでなく、動物のパネルにタッチもすることで、お子さんたちも楽しんでくれている様子でした。

プログラム終了後に、目的でもある模倣について説明させていただきました。お子さんたちの成長にも繋がってきますので、ぜひご自宅でも模倣を取り入れた遊びをしてもらえると学生一同大変うれしく思います！本プログラムにご参加いただき、本当にありがとうございました。



文責：B-2班 福島、佐原、新里、和田、片岡、セキ、松本、松尾、越智

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年6月12日 実施報告

参加者：親子3組（子ども3名）

担当：心理学部学生8名（プログラム実施B1班・補助・受付B1班/B2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育士スタッフ 高木・矢崎

内容：くだものどうぞ

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回のプログラムでは、絵本「くだものどうぞ」をもとにくだものを使った遊びを行いました。

はじめに、絵本「くだものどうぞ」を読み聞かせ、くだものを半分に切るときの「ザク、スパツ」といった音・形や色の変化を感じてもらいました。絵本の前まで出てきてくれたお子さんは、くだものを剥く仕掛けに興味津々で、手を伸ばしたり、驚いた表情をしたりしていました。読み聞かせ終了後、お腹をすかせたお爺さんにくだものを分け与えるという寸劇を行いました。お子さんには、木になっているフェルトでできたくだものをもぎ取り、実際にマジックテープを剥がして半分にしてみる体験をしてもらいました。保護者の方と一緒に好きなくだものを選び、ふわふわとしたフェルトを触ったり、マジックテープをバリバリと剥がしたり、手の運動を交えながら感触を楽しんでいました。はじめは「剥がす」という行為が難しかったお子さんも、保護者の方や学生の動きを見て模倣することができていました。また、「お爺さんにくだものをあげてみようか」と声をかけると、お爺さん役の学生に近づき、半分に上げてあげる場面が見られました。

最後に、本プログラムの目的である「感覚・運動器官の発達」について説明しました。お土産のフェルトのくだものをお喜びいただけて嬉しく思いました。ご家庭でも感触や音を楽しんでいただけたらと思います。ご参加いただきありがとうございました。



文責：B1班 今井、熊谷、馬淵、福元、大竹、知野、松本、四宮

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年5月22日 実施報告

参加者：親子 11 組（子ども 11 名）

担当：心理学部学生 9 名（プログラム実施 A2 班 / 補助・受付 A1 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育士スタッフ 下村・福本

内容：絵本で遊ぼう（動物いろいろかくれんぼ）

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回は絵本「動物いろいろかくれんぼ」を題材として、室内に隠れた動物を親子で探してもらうプログラムを行いました。また動物にちなんだふれあい遊びを行ってもらうことで親子の仲が深まるような内容を考えました。

はじめに、絵本の読み聞かせを行いました。色や形をヒントに、出てくる動物を想像してもらう内容でした。犬や猫などの身近な動物が出てくると、お子さんたちが動物の名前を呼んだり、「おー！」と声をあげたりしてくれて、大きく盛り上がりました。次に、室内に隠された動物の切り絵を親子で探してもらいました。各動物にはその動物にちなんだふれあい遊びが用意されており、それらを親子で行ってもらいました。動物を理解できるお子さんたちには動物を探して発見する遊びを、まだ動物についてまだ理解が難しいお子さんたちには、親子で抱き合ってもらったり、お子さんを撫でてもらうたりと、ふれあい遊びを楽しんでももらいました。

最後には学生が用意した動物のシールを用いて画用紙に自分だけの動物園を作り、今回のプログラムの思い出の品としてご自宅へ持ち帰っていただきました。

保護者のご協力もあり、お子さんたちが移動する時にぶつかることなく、安全に行うことができました。ご参加くださったご家族、先生方、スタッフの方々、ありがとうございました。



文責：A2 班 三浦、森上、高橋、宮田、松原、古川、井上、籠谷、石川

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2024年5月15日 実施報告

参加者：親子8組（子ども9名）

担当：心理学部学生 17名（プログラム実施 A1班 / 補助・受付 A2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育スタッフ 高木・矢崎

内容：野菜収穫体験

タイムテーブル

14:15～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:20～ プログラム

14:40～ おわりのあいさつ

今回のプログラムでは、お子さんと保護者の皆さんと一緒に楽しめるだけでなく、他のお友達と掛け声を合わせたり一緒に体を動かすことを目的に、絵本「やさいさん」を題材にした遊びを行いました。「やさいさん」の読み聞かせを行った後、手で触って楽しんでもらうことを目的に、野菜収穫体験を行いました。1歳半以上のお子さんたちは野菜の種類と形、色の違いを実際収穫体験を通して感じていただけるように、また、1歳半未満のお子さんたちには、モノを掴んで引っこ抜く感覚を楽しんでいただけるように、絵本の内容に合わせて、段ボールの土にフェルトで作った野菜を埋めた畑を作りました。お野菜は、小さいお子さんたちが掴んだ時に感触がいいように綿を詰める工夫をしたり、口に入れても安全のように大きく作成しました。好奇心旺盛なお子さんたちは、野菜を引っこ抜く感覚を楽しんでくれて、夢中になって引っこ抜いては戻したり、ぽいっとしたりして遊んでくれました。また、大きなだいこんをみんなで一緒に引っ張る際には、お子さんたちみんな掛け声を合わせてくれました。お子さんたちにお土産のお野菜を選んでもらうと、色のはっきりしているにんじんやさつまいも、大きなだいこんに人気が集まりました。

最後に、この度はお忙しい中、「がくせいとあそぼう」に参加していただきありがとうございました。「がくせいとあそぼう」を通して、お子さんの新たな一面を発見できたり、思い出になっていると嬉しいです。



文責：A1班 上野、藪根、永田、岸之上、今住、近藤、野崎、成瀬